

参加者の声（抜粋）

■講演「障がいのある人達の「はたらく・くらす」歴史を振り返る」について

- ・過去があって現在、未来がある。過去の振り返りは大切だと思った。
- ・本授産事業の歴史はざっくりとは理解しているつもりでしたが、今日、講演をお聞きして、改めて歴史を振り返ることができ、大変勉強になりました。
- ・基本的なことをしっかり振り返る時間となった。
- ・相談支援事業所が係わるようになってから、生活に関することを相談員がいるからと思いい役割分担として考えていました。原点に立ち帰り、働きたい・暮らしたい、の両輪で考えていきたい。
- ・授産の歴史がわかってよかったです。
- ・新米サビ管としてこれから頑張ってみようという気持ちが昂り、今後の業務に生かしていきたいと思った。
- ・障害保健福祉施策の歴史が戦前から戦後も加えて、また当時の状況も踏まえて説明してくださり、ずっと頭に入りました。利用者が主体となり「工賃を稼ぐ」という意識へ支援者も考えを切り替え、日頃の支援を工夫しなければいけないと思いました。

■講義「社会就労センターのモデル個別支援計画」について

- ・SELP 支援計画を使用しているが、マンネリ化もあり、スタッフ全体に伝えきれていない部分に気付くことができた。伝達研修で活用したい。
- ・個別支援計画において必要なこと、大切なことを改めて再確認することができました。
- ・心得ていかなければいけない事をしっかり伝えて頂けて、大変学びが深かった。
- ・個別支援計画を作るにあたり、一連のサイクルの重要性が分かりました。それとともに重要な役割をになう事になり、責任の重さを痛感しました。
- ・個別支援計画の作成や減算のことが初めて学ぶことができたので良かったです。
- ・アセスメントの仕方で計画の方向性も変わるので、細かく本人を知ることが大切でした。理解していたが、項目になり、わかりやすかったです。
- ・個別支援計画を作成するにあたり、アセスメントの重要性を再認識できました。フェルトニーズ、プロフェッショナルニーズを考察し、リアルニーズと捉える方法を実践して取り組んでいきたいと思いました。

■演習（グループワーク）について

- ・他施設や事業所の方の意見等を聞くことが出来、参考になった。
- ・時間が十分にあったので、とても有意義に話し合えた。経験の豊富な方や、浅い方と、いろいろ意見が聞けたのでよかった。

- ・サービス管理責任者の方や相談の方の意見など、たくさん勉強させて頂きました。
- ・普段、違う施設の方々と意見を交換する事で、自分の目線とは違う切り口を持っておられる方もおり、とても勉強になりました。
- ・他施設の職員と意見交換したことで、自身の事業所のアセスメントの不備に気づけ、計画内容について理解を深めれて有意義の時間となりました。
- ・アセスメントの重要性がわかりました。
- ・1人の利用者に対して視点が多く、意見を出し合う場面が職場ではないので、すごく勉強になりました。
- ・サビ管業務を行う上で、業務の多忙さに追われ、漠然と個別支援計画を作っていたように思います。しっかりとしたアセスメントを行い、短期目標は具体的なスモールステップにすることが大事だと思いました。

■研修会全体について

- ・アセスメント・計画・モニタリング、今まで自分が行ってきた業務に対し、自信を持つ事ができました。
- ・計画をたてる側として、何をしてんだらうと思い、アセスメントの重要性を改めて気づく機会となり、今後もこのような研修があれば参加していきたい。
- ・自分の職務を見つめ直す良い機会となりました。